

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

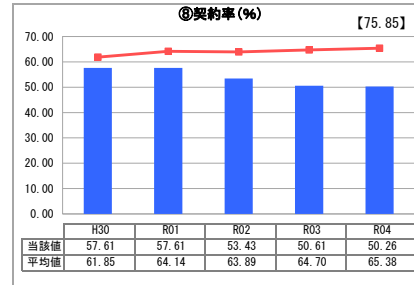
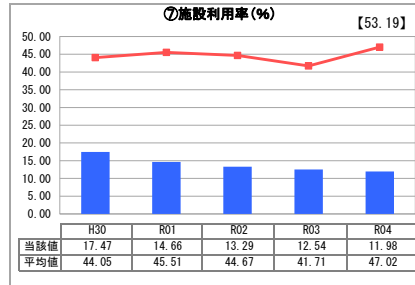
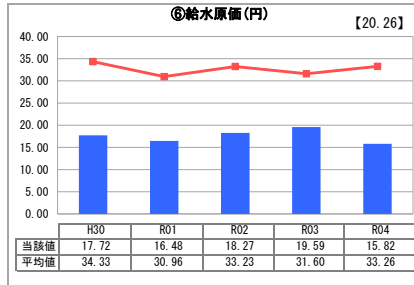
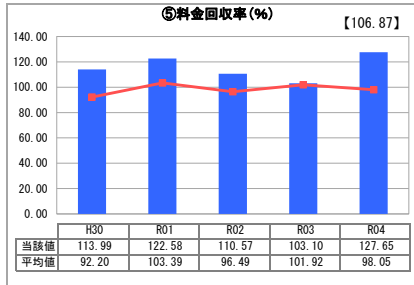
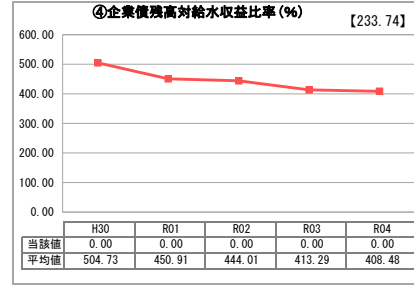
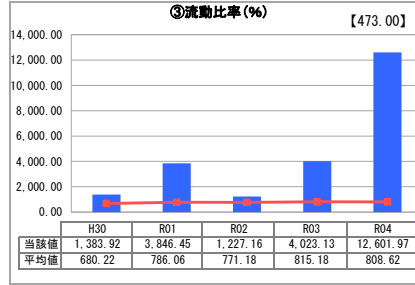
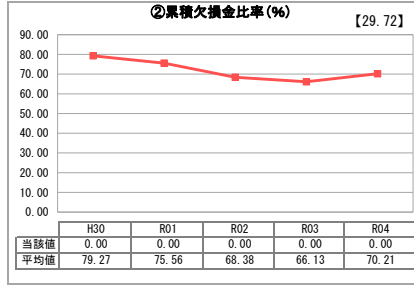
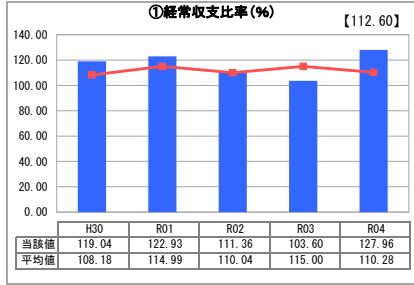
山口県 岩国市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	28,570	小規模	1	3,422
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	96.5	12	14,358	自治体職員	

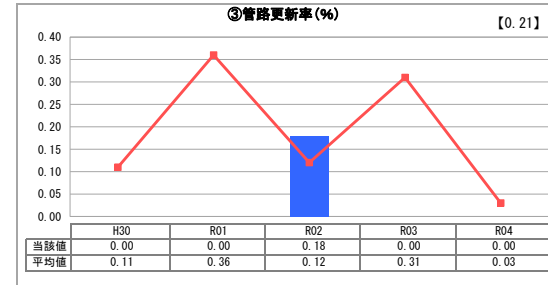
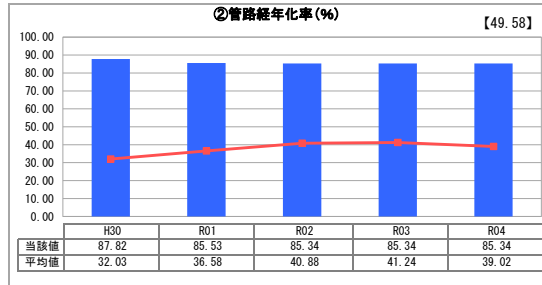
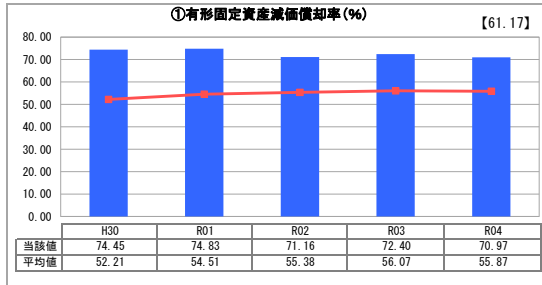
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率(%)
100%以上であり、健全な経営状態を維持している。

② 累積欠損金比率(%)
類似団体と比較しても、高い比率を維持しており、支払い能力に問題はない。

③ 流動比率(%)
100%を上回る水準を維持しているが、今後は給水収益が減少するため、状況を注視していく必要がある。

④ 企業債務高対給水収益比率(%)
全国平均と比較すると低いが、今後施設更新の計画が策定されたら、給水原価の増加が見込まれる。

⑤ 料金回収率(%)
100%を上回る水準を維持しているが、今後は給水収益が減少するため、状況を注視していく必要がある。

⑥ 給水原価(円)
全国平均と比較すると低いが、今後施設更新の計画が策定されたら、給水原価の増加が見込まれる。

⑦ 施設利用率(%)、⑧ 契約率(%)
施設利用率、契約率ともに類似団体と比較して低く、また、現時点で企業の新規参入や契約水量が増加する予定はなく、企業の撤退決定により契約水量の減少が見込まれるため、新規企業の誘致や施設の適切な規模へのダウンサイジング化等の検討が必要である。

2. 老朽化の状況について

管路総延長約17kmに対し、法定耐用年数を経過した管路延長は約15kmと、事業創設期の施設がほとんどを占めている。また、老朽化により、ここ数年は漏水事故が多発している。

今後は、経営方針が決定次第更新計画を新たに策定していく必要がある。

全体総括

岩国市の工業用水道は通水開始から40年以上が経過し、施設の大半が老朽化し更新時期を迎えているので、今後は、優先順位の高いものから順次、施設更新を行う予定であったが、給水先企業の撤退が決定し、今後給水収益が大幅に減少する見込みのため、料金水準の見直しを検討や新規企業の誘致など、更なる経営の安定を目指す必要があり、現在経営方針の見直しを行っているところである。